

応援ありがとうございました

中里中学校野球部

第3回東日本少年軟式野球大会優勝記念パレード

中里中学校野球部が、8月9日～11日に茨城県水戸市で開催された「水戸市長旗・第3回東日本少年軟式野球大会」で優勝したことを記念し、町内パレードを行いました。

中央公民館から津軽中里駅までの道のりを同中学校ブラスバンド部を先頭に練り歩きました。沿道には地域の住民、中里中学校生徒、中里幼稚園や中里保育所の子どもたちがかけつけ、大きな声援を送りました。



[特集]

なかどまりまつり
青少年国際交流事業

[まちの話題]

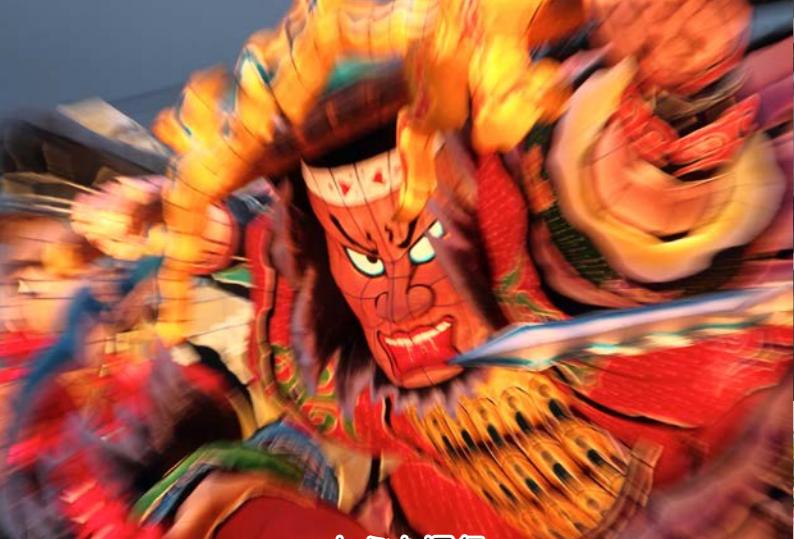
福祉避難所協定

[スポットライト]

各種大会で快挙
ホタルまつり

[お知らせ]

統計調査にご協力を



ねぶた運行



にもさき流し踊り



www.nursingcenter.com



よさこい中里



ふた運行

なかどまりまつり 2013

3月10~11日 中里地区

■8月14日 小泊地区

■8月15~16日 下前地区

期間中天気に恵まれた「なかどまりまつり」は、8月10日㈯から中里地区で2日間開催され、伝統のなにもささ流し踊り、ねぶた運行など様々な催しが行われました。2日目の「よさこい中里」では、6チームのパフォーマンスでパルナス特設会場に集まつた観客を魅了しました。

14日㈬からは、小泊・下前地区に場所を移し、海上パレード、ねぶた運行、太刀振り、流し踊り、船こぎレース、海上相撲、カラオケ大会などが行われました。土日から始まつたまつりは、どの会場も帰省した家族連れなど多くの来場者が集まり、例年以上にぎわいました。

太刀振り



海上安全パレード



カラオケ大会



流し踊り



海上相撲

本格的な友好・親善関係スタート

青少年国際交流事業「クランフォード町」

8月3日(土)～8月8日(日)の日程で、米国ニュージャージー州・ニューヨーク州に派遣された青少年国際交流事業に参加した中学生。

町の未来を担う子どもたちに国際感覚を学んでもらうため派遣されました。昨年は柔道を通じたスポーツ交流を行いましたが、

今回は町内の全中学生を対象に参加者を募り、14人が参加しました。全日とも晴れて、気温は24～25度と湿度もなく過ごしやすい日となりました。

また、もうひとつの目的でもある一層の友好親善促進は、小野町長や町議会議員8人、現地クランフォード町長ら幹部たちが参加した公式セレモニーの場において、トーマス・ハーネン町長が、姉妹都市として交流していくことを宣言しました。

町出身で米国五輪チームコーチ

や、米国柔道連盟会長などを歴任

した柔道家・米塚義定氏の縁で始まった交流は、両町の友好・親善をより深めていくことが約束され、特別な関係が構築されました。

○クランフォード町民は、世界中のコミュニティの人たちについてさらに学ぶとともに、国際交流、理解を促進する希望があることを表明する。

○中泊町長が社会、政治、文化面で2つの町の交流を図るためにクランフォードとの姉妹都市関係樹立への招待を出した。

○クランフォード町行政委員会は、このような関係構築は、両町の町、住民にとって有益であると考える。

○クランフォード町行政委員会は、クランフォード町と国外・国内のほかのコミュニティと、相互意思疎通、交流、発見が促進されることを願う。

○今ここに、クランフォード町行政委員会を代表し、町長トーマス・ハーネンは、訪問者を歓迎し、文化的な発見を促進する特別な関係構築のため中泊町の招待を受け入れ、世界の人々とのつながりを進めることを宣言する。



【宣言するトーマス・ハーネン町長】



8月3日(土)

町役場を出発

青森空港→仁川空港(韓国)



【仁川空港へ向かう機内にて】



【14時間のフライト…眠い】



【空港からホテルへ向かう】

到着

仁川空港(韓国)→ジョン・F・ケネディ空港(米国)

■ニューヨークに行つて来た思い出



敦賀 楓恋さん
(中里中2年)

昼食後、町経営のプールに行きました。はじめ全然深くないと思って、飛び込みをしたらけつこう深くて、もう少しで溺れるところでした。その後はすこし浅い方のプールで泳ぎました。夜は、クランフォード町関係者や現地学生と夕食交流会でした。学生の言葉は何もわかりませんでしたが、身ぶり、手ぶりをしたり、手が携帯の翻訳機能を使つたりしたので、なんとかコミュニケーションをとることができました。

次日の日は、エリザベスのショッピングモールで買い物をしました。夕食はニューヨークの和食レストラン

で食べましたが、久しぶりに食べた米がすごくおいしくて、改めて米の大切さを知ることができました。

この国際交流事業に参加してとてもいい経験をすることができました。これに行かせてくれた親そしてこの国際交流事業という事業を作つてくれた中泊町に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

私は、初めてニューヨークに行くことになりました。私は行くと決まつた時はとてもわくわくしました。飛行機に乗った瞬間は、ああいよいよ

で食べました。カレーライスとそばを食べましたが、久しぶりに食べた米がすごくおいしくて、改めて米の大切さを知ることができました。

この国際交流事業に参加してとてもいい経験をすることができました。これに行かせてくれた親そしてこの国際交流事業という事業を作つてくれた中泊町に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

私は、初めてニューヨークに行くことになりました。私は行くと決まつた時はとてもわくわくしました。飛行機に乗った瞬間は、ああいよいよ

で食べました。カレーライスとそばを食べましたが、久しぶりに食べた米がすごくおいしくて、改めて米の大切さを知ることができました。

この国際交流事業に参加してとてもいい経験をすることができました。これに行かせてくれた親そしてこの国際交流事業とい

う事業を作つてくれた中泊町に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

私は、初めてニューヨークに行くことになりました。私は行くと決まつた時はとてもわくわくしました。飛行機に乗った瞬間は、ああいよいよ

で食べました。カレーライスとそばを食べましたが、久しぶりに食べた米がすごくおいしくて、改めて米の大切さを知ることができました。

■国際交流事業に 参加して



橋本 萌香さん
(小泊中1年)

私がアメリカを見て感じた事は綺麗だということです。飛行機から見た感じだとスパンコールみたいでした。でも、実際空港の外に出てみるとゴミだけでした。たばこの吸いながらも隙間という隙間にギュウギュウに詰まつていて、日本ではありえない行動にビックリでした。でも、現地の人はとても良い人ばかりで、クランフォード町はNYとは真逆で、静か、綺麗でとても平和な感じでした。

プールでは現地学生といっぱい話した。公式セレモニーでも少し話をしていて、みんなたくさん食べるから「お腹しているの?」と聞くと、「とてもお腹がすいている」と返ってきたので、そんなに腹が減っているのかと思い皆大爆笑でした。

夕食交流会では白人の可愛い人と中国とインドのハーフの子と食事をしました。アイフォンで会話をしたり、折り紙をもらったり、流行っている遊びを教えてもらったり、仲良

くしてもらいました。

NYでバスに乗っているときに思つたことは、ランニングシューズの人が多いと思いました。あと犬も！しかも綺麗で……。羨ましくやつぱり外国人つて凄いと思った。

また、アメリカに行きたいなあと思いました。でもNYよりクランフォードの方に……。今度外国に行く機会があつたら、ある程度その国の言語を勉強してから行きたいです。

■憧れのアメリカ！



葛西 柚乃さん
(中里中2年)

憧れのアメリカに初上陸し、ホテルへ向かうバスから見た夜景は、長時間のフライトの疲れが吹き飛ぶほど衝撃的でした。たくさんのビルの



8月4日(日)

ニューヨーク市内視察



明かりがキラキラしていて、とてもきれいでした。

何もかも衝撃的なアメリカでした。女子！ガールズトークが始まります。「彼氏いるの？」など、日本もアメリカも、恋の話は好きなようです。そんな話をしながらも、やっぱり芳枝は柔道、私は剣道をやっているので、道着を着て写真を見せた。笑って、かつこいと言われました。確かに初めて見たら、笑っちゃうかもなあ。

2人は空手をやっているらしく、芳枝は柔道、私は剣道をやっているので、道着を着て写真を見せた。笑って、かつこいと言われました。確かに初めて見たら、笑っちゃうかもなあ。

■中泊町青少年国際交流事業に参加してみて



西久保 健くん
(小泊中2年)

ニューヨーク市内の視察では、グラウンド・ゼロなどを見に行きました。エンパイア・ステート・ビルの展望台ではとても高くて足がすくみました。カメラでニューヨークの風景を撮ることができてよかったです。

3日目はクランフォードへ行きました。まず柔道空手センターの米塚義定さんの所へあいさつをして、公式セレモニーで現地の学生へ記念品を贈呈しました。僕はあまり英語得意ではないので少しお話しで、ラウンジ・ゼロなどを見に行きました。エンパイア・ステート・ビルの展望台ではとても高くて足がすくみました。カメラでニューヨークの風景を撮ることができてよかったです。

夕食は久しぶりに米を食べることができ幸せでした。デザートのスイカもおいしかったのでたくさん食べることができました。

アメリカへ行つて思つたことは、やはり1食の量が多いことや不慣れなドルは使いにくいということです。

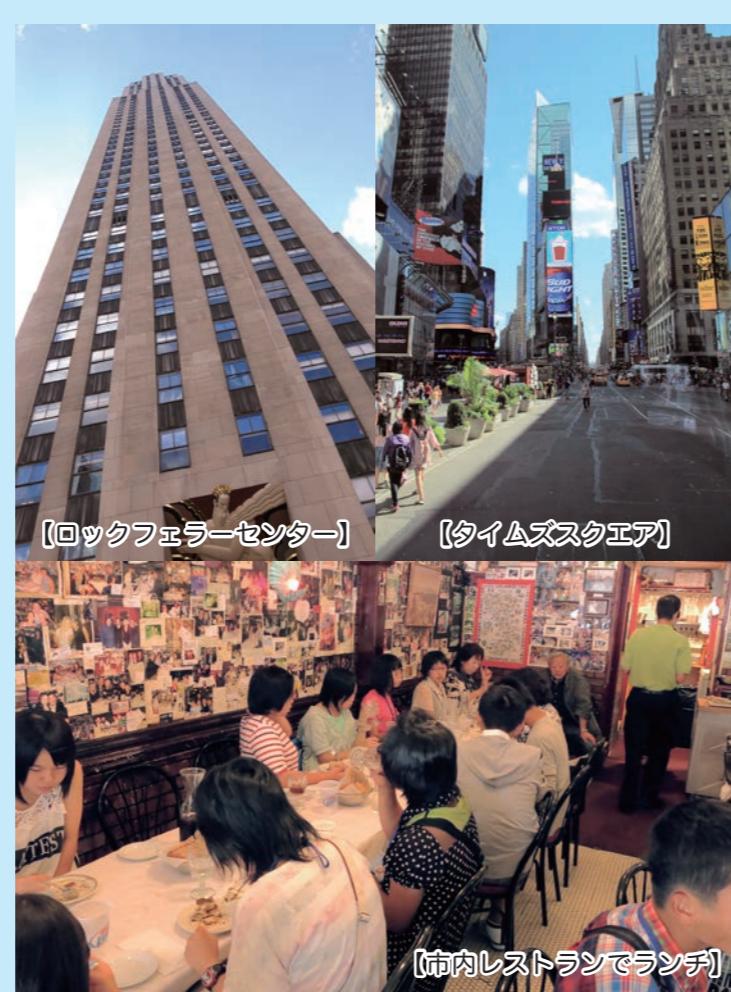
でも、現地学生との交流はとても楽しかったのでまたアメリカへ行く機会があつたら行きたいです。

4日目はショッピングモールへ行きました。おみやげが中々決まりませんでした。人が行つた店に行くとすぐにおみやげが決まり、いい買い物ができます。

■USA



田中 良和くん
(中里中1年)



ニューヨークでは、まずグラウンドゼロに行きました。実際に飛行機が突っ込んだビル周辺なので、とても広かったです。次に自由の女神像を見に行きました。船に乗つて女神像のある島まで行きました。風が気持ち良かったです。実際に見る女神像は、テレビより迫力がありました。

次の日、ニュージャージー州に向かいました。ニュージャージーに向かうにつれ、どんどん自然が増えました。まずは、米塚先生の道場を見に行きました。先生の道場は地下にあって、結構広かったです。クランフォード町の役場で、現地学生とセレモニーをした後、学生同士で話す時間が与えられましたが、なかなか話せませんでした。

現地学生達と一緒にプールにも行きました。ウォータースライダーもあって、面白かったです。プール後は、夕食交流会に行きました。初めは、なかなか話せずとまどつていましたが、スマホの力も少し借りつつ、話すことが出来ました。料理はとても美味しかつたです。

次の日のサイエンスセンターは、色々な体験があつて面白かったです。ニューヨークへ戻り、仁川を経由して日本に帰つてきました。日本ではできない体験だったのでまた行きたいです。

私は、最初にアメリカ行きを聞いた時、すぐに行きたいと思いました。父も母も、すぐに快諾してくれました。

中泊町青少年国際交流事業



長谷川 正樹くん
(小泊中2年)

■中泊町青少年国際交流 事業に参加して

私が参加しようと思ったきっかけは、本場の外国語で会話をしてみたいという理由からでした。コ

ーヒーを頼む時イングリッシュの英語ばかりで本当に大変でした。

そしてアメリカに到着したの

が、何を言っているのかわからない

違いで理解してもらえず本場の英語になれるのは、相当難しいと思いま

す。

1日目は、いろいろな場所で写真を撮り思い出を残しました。何が大変だったかというと食べ物の量で特に夕御飯の中国料理店では、一口も食べる事が出来ず店員さんたちは悲しそうな顔をしていて申し訳ない気持ちになりました。

2日目は、現地の柔道教室の生徒さん達とプールに行き言葉は通じなかつたけど優しい人達で大体はジェスチャーで会話をする事ができました。一緒に夕食を食べ、いろいろと話をしたのですが、私は英語が得意ではないので話題を考えるので精一

杯でした。

3日目は、トシさんは、英語ではなく言葉が通じなくても、何とか伝えようとする気持ちや、アメリカの人々の優しさを知る事ができ楽しかったし、人のふれあいの仕方を改めて知る事ができました。この思い出は私の宝物です。

アメリカで学んだ事は、英語ではなく言葉が通じなくても、何とか伝えようとする気持ちや、アメリカの人々の優しさを知る事ができ楽しかったし、人のふれあいの仕方を改めて知る事ができました。この思い出は私の宝物です。

■中泊町青少年国際交流 事業に参加して

私の中では、アメリカは世界中の心の国というイメージが強く、樂しみだつたけれどとても緊張していました。



熊木 寧々さん
(小泊中2年)

ニューヨークは大きな建物がたくさんあって、改めて世界は広いといふことを実感。自由の女神を見ましたが、本物は想像以上に大きく、美しくて、とても感動しました。空高く聖火をかかげ、たくましい左うには独立宣言書をかかえていて、その姿はほこらしげでした。

クラシフォード町の交流では、最初は言葉がなかなか通じなくて大変だったけれど、ジェスチャーも交えて自分から進んで話しかけました。

学校で習ったことを生かして会話をかけました。

米塚義定さんが教える柔道・空手センターでは、Tシャツとバッジをいただきました。博物館では、歴史や文化、科学や自然などを、楽しみながら学べました。昔の工事現場や、小動物の生活の様子を再現したアトラクションが楽しかったです。

初めての海外だったので、最初は不安でいっぱいでしたが、多少の時差ボケはあつたけれど、意外とすぐに慣れました。少し自分に自信が持てるようになつた気がします。この

ような機会をあたえて下さった町長さん、米塚さん、同行して下さった

ラクションが楽しかったです。

初めての海外だったので、最初は不安でいっぱいでしたが、多少の時差ボケはあつたけれど、意外とすぐに慣れました。少し自分に自信が持てるようになつた気がします。この

ような機会をあたえて下さった町長さん、米塚さん、同行して下さったラクションが楽しかったです。

6日間の経験を将来に生かせるように、これからもがんばります。



米塚 結衣さん
(中里中3年)

■アメリカに行ってみて

8月7日(水)～8日(木)

JFK→仁川→青森



8月6日(火)

クランフォード柔道空手センター、科学博物館などの見学



【マンハッタンをバックに記念撮影】



積極的に話しかけてくれたので、あまり緊張せずに会話をすることが出

きました。

今回私は、アメリカに行つてとても良かつたと思います。普段体験できないことが体験出来たし、グラウンドゼロや自由の女神を見られたり

と、とても良い経験になりました。学んだことを無駄にせず、これから役立てていきたいと思います。



古川 敦基くん
(中里中1年)

■青少年国際交流

私はアメリカに行つて、初めてのことばかりで大変だったけど、楽しめたこともたくさんありました。飛行機内では移動時間が12時間以上あつたり、緊張してあまり寝られなかつたので飽きてしました。ケネディ空港に着くと、周りの人みんなが外人で、「アメリカに来たんだな」と実感しました。

2日目はニューヨーク市内視察で、グラウンドゼロや自由の女神などを見に行きました。自由の女神への船から見えた空はとても鮮やかだった。自由の女神はとても大きく、観光客が米粒のように見えました。

3日目は、セレモニー後、プールに行きました。足が着かなくて大変だつたけど、久しぶりのプールでとても楽しかったです。夕食では、現地学生が混ざって席に座り、一緒に折り紙の鶴を作つたり、色々なことを話しました。学生さんは気さくで

私はアメリカに行つて、初めてのことばかりで大変だったけど、楽しめたこともたくさんありました。飛行機内では移動時間が12時間以上あつたり、緊張してあまり寝られなかつたので飽きてしました。ケネディ空港に着くと、周りの人みんなが外人で、「アメリカに来たんだな」と実感しました。

2日目はニューヨーク市内視察で、グラウンドゼロや自由の女神などを見に行きました。自由の女神への船から見えた空はとても鮮やかだった。自由の女神はとても大きく、観光客が米粒のように見えました。

3日目は、セレモニー後、プールに行きました。足が着かなくて大変だつたけど、久しぶりのプールでとても楽しかったです。夕食では、現地学生が混ざって席に座り、一緒に

折り紙の鶴を作つたり、色々なことを話しました。学生さんは気さくで

トビルは、展望台が86階にあり、マンハッタンがきれいに見え自由の女神も小さく見えていました。クラシフォードでの交流では、言葉が通じるか、仲良くなれるか不安でドキドキしました。セレモニーで現地学生に記念品として風鈴をどうちわを渡しました。プールでは、現地学生と競泳しました。僕は得意のバタフライで泳ぎ、全て僕が勝つと学生が「ワンモア」と言つたので何度も勝負しました。監視の人も「グレイト」と言つてくれました。ホテルでその学生たちに「カモン」と言われ、トランプと一緒にやりました。 Baba抜きでしたが、学生たちの方が強くて負けてしまいました。その後、趣味など簡単な話ができ、誘われてうれしかつたです。

帰りの飛行機の隣はスペインの人でした。三沢市で英語やスペイン語を教えていた。日本語がとても上手でした。独学で覚えるなんくることがありますいつぱいあります。いろんな人に出会い、不安だつた言葉も何とか相手に伝えて交流できたと思いました。この旅は大切な思い出の一つになりました。

神像はとても大きく、フランスはこの巨大な物をどうやって運んだのかなと思いました。エンパイアステー

中里中野球部の快挙を祝う 優勝パレード・祝賀会

NAKADOMARI PUBLIC RELATIONS SEP 2013.



パレードを盛り上げたブラスバンド部

8月9日(金)～11日(土)、茨城県水戸市で水戸市長旗第3回東日本少年野球大会が行われ、中里野球部が強豪チームを次々に退け、見事優勝しました。

決勝までの4試合で失点はわずかの1点。安定した青山・米塚両投手が相手打線を押さえ、攻撃でもチャンスを確実にいかし、勝ち上りました。

そんな選手たちの活躍を祝おうと関係者らが実行委員会を立ち上げ、8月22日(木)に町内パレードと祝賀会を行いました。同中学校からブラスバンド部も参加し、優勝パレードを盛り上げました。

祝賀会では、野球部の部員からいさつがあり、関係者へ感謝の気持ちを伝え、3年生は「高校でも野球を続けたい」、2年生は「3年生を超える活躍をする」と誓っていました。

また、同野球部は県少年軟式野球大会でも優勝し、23年ぶり2度目の栄光を勝ち取りました。



父兄との記念写真

優勝報告会で活用を

(株)竹内組がまつりなどの売上を寄附

茨城県水戸市で行われた東日本少年野球大会で優勝した中里中学校野球部。その活躍を祝う町内パレードなどに役立てて欲しいと8月20日(火)、(株)竹内組(竹内忠義代表取締役)が役場を訪れ、なかどまりまつりへの出店やたけちゃん農園の売上げの一部を中里中学校優勝報告会実行委員会に贈呈しました。

竹内宏人相談役は「なかどまりまつり中に同中野球部が活躍する速報が入る度に、まつり会場はとても盛り上がった。地元の子どもたちのがんばる姿を応援していきたい」と話していました。

今年もバスガイドが活躍

ホタルまつりinなかどまり



お茶の体験コーナー



中里高校生バスガイド

陸上部見事総合優勝

青森県民体育大会



弘前市運動公園で8月17日(土)、18日(日)に行われた青森県民体育大会陸上競技で、町体育協会陸上部が多くの種目で上位を獲得して、見事総合優勝2連覇を達成しました。

全34種目中、7種目(男子400m A、走り高跳びA・C、砲丸投げB・C、女子走り高跳びB、砲丸投げA)で1位を獲得しました。

中里川上流にある滝ノ沢ふるさと砂防愛ラン
ドで7月27日(土)と28日(日)、「ホタルまつりinな
かどまり」が行われました。

初日は開催前に大雨が降り、津軽鉄道のツア
ー客のキャンセルなどが重なり、例年より観賞
者が少なめとなりましたが、2日目は天候が回
復し、両日で約800人がホタル観賞に訪れま
した。

このまつりは、バスガイドによるホタルの豆
知識など話題提供が恒例です。今年も中里高校
生徒や役場職員がガイドを担当し、公民館から
会場までの約10分間の道のりを楽しんでもらい
ました。

ガイドの生徒は、「自分のガイドで多くのお
客さんに感謝され、とてもやりがいがあった」
と話していました。

また、会場ではホタルのエサであるカワニナ
の放流、組立式茶室でのお茶会体験コーナーや
オカリナ演奏にあわせた詩の朗読などが行われ
ました。

肝心なホタルは、例年にないくらいたくさん
の数が乱舞し、観賞客たちは「こんなに多くの
ホタルはみたことない、ほんとにきれいだ」な
どと喜んでいました。

真夏も駅ナカは元気だ

駅ナカにぎわい空間夏まつり

夏も駅ナカは元気だと発信するイベント「駅ナカにぎわい空間夏まつり」が7月28日(日)、津軽鉄道中里駅舎で行われました。

オープニングは金多豆藏人形芝居の漫才、時代劇、淨瑠璃でひと笑い。続いてスコップ三味線「謎の美女軍団」や健康ダンス「ベえ子ちゃん」ショー、中里三味線会による演奏や「夢幻天舞」によるよさこいで盛り上がり、最後は瓜田益子さんの歌謡ショーでまつりを締めくくりました。

また、イベント中、金多豆藏応援隊の会メンバーが大地の恵みと海の幸「大直売会」として、加工品や鮮魚などを販売しました。



家族や友人と一緒に

静和園で夏まつり

静和園とその家族会が毎年恒例の夏まつりを7月31日(水)に行いました。まつりには利用者と家族、友人が玄関前に用意されたテントに集まり、中里横笛愛好会のオープニング演奏、健康ダンス「ベえ子ちゃん」のダンスショー、中里三味線会の歌や演奏、「夢幻天舞」によるよさこい演舞を楽しみました。今年は、新たに早食い競走を行い、参加した子どもたちが口いっぱいに焼きそばを詰め込んだ姿に会場は笑いに包まれました。また、ボランティアのみなさんによる出店やじゃんけん大会などイベントが行われ、にぎやかなまつりとなりました。

路線上運行今年も

太宰治立佞武多路線上運行

津軽半島観光アテンダント製作の立佞武多が8月9日(金)、昨年に続き、トロリーに乗せて津軽五所川原駅から生まれ故郷の金木などを経由し、津軽中里駅まで1時間半をかけて夜の津軽平野を佞武多の明かりで照らしながらゆっくりと走りました。

終点の津軽中里駅には、地域住民、おっかけナイトツアー客や鉄道ファン約100人が集まって出迎えました。

この立佞武多は8月10、11日は中里地区のまつり、14日は子守をしてくれたタケさんに会い行くことを目的に小泊地区のまつりでも運行しました。



食べるのが楽しみ

2保育所が芋掘りを体験

グリーンツーリズムかけはしの会(会長 神かづ子)が講師となって行っている畑の学校が8月21日(水)に体験ほ場で行われ、中里保育所38人、小泊保育所24人の計52人がじゃがいも掘りを体験しました。厳しい残暑の残る日でしたが、子どもたちは水分をとりながら、じゃがいもの茎を引っ張ったり、土を崩したりして芋掘りを楽しみました。子どもたちは、掘ったじゃがいもを見て「かわいい、早く食べたい」と話していました。

災害時要援護者の避難施設として

町福祉避難所連絡協議会と協定

災害時要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定の締結式が7月29日(月)、役場で行われました。この協定は、日常的に介護を受けているなど特別な配慮を要する住民が、災害時に福祉施設を利用して避難生活を送ることを可能にする内容となっています。個々の施設と市町村の間で協定が結ばれることが多いなか、当町では町内福祉施設からなる協議会と連携し、より効率的な避難誘導の実現を目指す形となりました。この日は中泊町福祉避難所連絡協議会から13人が訪れ、会長・太田正仁氏と小野町長が協定書への署名と調印をしました。太田会長は「会員施設同士の情報交換を積極的に行い、地域住民を素早く受け入れ、あざましい避難生活をおくれるよう努めたい」と語っていました。

災害時要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定締結式

～中泊町・中泊町福祉避難所連絡協議会～



得意の歌を披露

青山力ヨさん100歳顕彰

特別養護老人ホーム「あしの園」で8月7日(木)、青山力ヨさんが100歳を迎え、町から顕彰状と祝い金が手渡されました。



青山さんは、旧内潟村に生まれ、同村内に嫁ぎ、子ども4人、孫10人、ひ孫24人、やしゃご4人に恵まれました。若い時は田んぼや木炭づくりなど行い、家を支えていたそうです。現在の楽しみは好物の大根おろし、酢の物を食べること、お山参詣の囃子を歌うことだそうです。セレモニーでは本人から囃子の披露とあいさつがあり、「今日はどうもありがとうございます。みなさんのおかげです」と緊張した表情でしたが100歳とは思えない元気さをみせました。家族によると「60歳を迎えたときは80歳まで生きたいと話していたが、100歳になって元気でいることは大変喜ばしいことだ」と話していました。

交通安全を呼びかけ

ドライバーにグッズを配布

グループホームさくらの利用者と施設職員が7月30日(火)、中里地区の街頭で交通安全を呼びかけ、ドライバーにパンフレットと手作りマスクを手渡しました。「安全運転お願いします」と声をかけられ、ドライバーたちは笑顔で受け取っていました。この活動は「何歳になっても、自分たちができるかたちで町民のお役に立ちたい」という思いからはじめり、今回で2回目となりました。

また、8月3日(土)に折戸地区では、交通安全協会小泊支部会員や関係者が、手づくりストラップや反射シールなどを配り、安全運転を呼びかけました。



中里地区

折戸地区



生きがいと健康づくりを

高齢者交流会 in したまえ

高齢者が自分の健康を守り、生き生きと暮らせるボランティア運動のネットワークを広げようと8月22日(木)、すぐすぐしたまえ館で交流会を行いました。今年度は、最終処分場の見学後、すぐすぐしたまえ館で「笑顔いっぱい・減塩で健康に・血圧を測ろう」をテーマに交流会を開催。町内の元気な65歳以上のみなさん約70人が参加し、芸能発表などで動いて笑って身体も心も健康を保つよう活動しました。

町児童たちが県外大会で活躍

2団体が町を訪問

県 外大会で好成績を収めた中里卓球クラブと薄市小学校相撲部のみなさんが、8月22日(木)、役場を訪問し大会結果報告をしました。

【中里卓球クラブ】

全国ホープス東日本ブロック卓球大会の男子団体(横濱宗成、長谷川翔吾、黒川透夜、鈴木大生)に出場し3位となりました。また、同クラブは、9月に福島県で開かれる全日本クラブ選手権大会(団体)へ出場します。メンバーの小泊小5年鈴木くんは、「あと一歩のところで決勝を逃し悔しかった。全国大会では、得意のドライブで攻めていきたい」と話していました。

【薄市小学校相撲部】

東北学童相撲大会(8月18日開催、岩手県八幡平市)の団体の部で優勝し、昨年に続き見事2連覇を達成しました。団体メンバーは先鋒:成田力道、二陣:神歩武、中堅:成田姫星、副将:秋元貴匡、大将:成田花道、補欠:奈良昂。さらに個人の部でも成田(花)くんが優勝、神くんが準優勝し上位を占めました。

また、同日の開催となった全国小学生相撲大会東北ブロック予選会では、個人4年生以下の部で成田(力)くんが優勝、6年生の部で神くんが3位に入り、12月に両国国技館で開催される全国大会へ出場します。2人は「上位に行けるよう自分の相撲を取りたい」と話していました。



低学年が健闘

小学生陸上競技2大会

7月に町総合運動公園で、陸上競技2大会が行われ、町内外から延べ890人の選手が参加しました。中泊町選手の上位入賞者はつぎのとおりです。

■第9回津軽地区小学生陸上競技交流大会 (7月21日参加選手410人)

男子

- ・4年100m…3位 米塚孔喜(中里小)
- ・共通ソフトボール投…3位 長峰颶汰(中里小6年)



■第8回つがる北五ブロック小学生陸上競技記録会(7月28日参加選手480人)

男子 未就学児60m…1位 新岡勇輝(富野保育所6歳)

- ・2年男子…1位 成田来河(中里小) / 3位 外崎隼矢(中里小)
- ・3年100m…1位 小野倅太朗(中里小) / 2位 松谷温翔(中里小)
- ・4年100m…2位 北島優汰(小泊小) / 3位 米塚孔喜(中里小)
- ・共通男子ソフトボール投…1位 長峰颶汰(中里小6年)

女子 未就学児60m…1位 中畠萌乃(中里保育所5歳) / 3位 野上佳子(中里保育所5歳)

- ・1年100m…1位 佐々木桜実(薄市小) / 3位 古川郁子(中里小)
- ・2年100m…1位 佐藤姫来(中里小)
- ・3年100m…1位 太田那琉(小泊小)

安定した水揚げを

ヒラメ稚魚放流

安定した漁獲量を確保しようと7月29日(木)、青森県栽培漁業振興協会が、小泊沖へ2万5千尾、下前沖へ1万5千尾のヒラメの稚魚を放流しました。

ふ化して3ヶ月経過し、体長5cmほどに育ったヒラメの稚魚は、トラックから漁船に移され、砂地のある海底へホースなどにより放流されました。

同行した漁協職員は、「安定した漁獲量を期待している」と話していました。

小泊・下前両漁協でのヒラメの水揚げは、年当たり4トン平均で推移しています。



海から学ぶ、仲間づくり

西北子どもジュニアリーダー研修会

西北各地で活躍する子ども会のジュニアリーダーやリーダーを目指す子どもたちが集う西北子どもジュニアリーダー研修会が、8月4日(日)に小泊地域を会場に行われました。この日は、4市町(五所川原市、鶴田町、板柳町、中泊町)の子どもたちや保護者、関係者など約80人が参加し、「海から学ぶ、仲間づくり」をテーマに活動をしました。基幹集落センターでイカ飯づくりの体

験と小泊漁協の製氷庫見学後、折腰内海岸へ移動し、スキンダイビングで手をつなぎながら泳いだり仲間づくりを楽しみました。昼食は、お楽しみの浜辺でのバーベキュー。焼き肉のほか、サザエのつぼ焼きやホタテ、マグロのカブト焼きなど海の幸を味わいました。

みんなであそぼう

リターン・ワールド

昔のあそびを楽しんでもらおうと8月4日(日)、すぐくしたまえ館で「リターン・ワールド」が行われ、スタッフ含め約30人が参加しました。

下前地区にある3つの母親クラブのメンバーが、ヨーヨー釣りやだるまさんが転んだなど昔のあそびを集めた子どもたちに伝えました。だるまさんが転んだでは、ルールに戸惑う子どももいましたが、クラブ員からコツを聞いてからは大声をあげて楽しんでいました。

あそびのあとは、カレーやデザートを振る舞って世代間の交流を行いました。



心配ごと相談 町社会福祉協議会

中里地域	小泊地域
9月25日 近村 敦、菊池俊一	9月18日 長内エツ子
10月9日 中村盛江、佐々木守善	秋田谷徳美
相談場所 役場相談室 相談時間 午前9時~午後2時	相談場所 日本海漁火センター 相談時間 午前9時~午後2時

なんでも行政相談

日 時…9月17日(火)午前9時~12時

場 所…中央公民館

行政相談委員…秋元武弘、藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

今月の
イチ押し

サプライズ訪問

宝富士関が薄市保育所訪問



動かない.....

7月場所を9勝6敗で勝ち越した宝富士関が8月12日(月)、薄市保育所を訪問しました。突然の訪問に子どもたちは、「キヤー」などと歓声をあげました。子どもたちとのトークでは、「どうして強いの?」の質問には、「好き嫌いしないで何でも食べる事が大事だよ」、「どういう技があるの?」に対しても「52の技があるよ」と答えています。続いて、子どもたちが相撲にチャレンジし、大きな関取と組み合いました。このほかにも一緒にダンスを踊るなど交流を楽しみました。

また、この日の夜には激励会に出席し、「三役を目指してがんばりたい」と後援会のみなさんへ伝えました。

前日までのまつりと

関取には大忙しの里帰りとなりました。

感謝の気持ちを伝えたい

町成人式に
95人の新成人が集う

新成人を祝う町成人式が8月15日(木)、町総合文化センター・バスナスで行われ、対象者136人中95人(男62人、女33人)が参加しました。第1部の式典では、馬場教育委員長が「人生の節目を迎え、変化することなく、自ら人生を切りひらいてもらいたい」と式辞を述べました。関係者のあいさつに続き、新成人を代表して宮下琢也さんが、「これまで自分たちを支えてくれた皆さんに感謝し、町に貢献できるよう努力していくた い」と誓いました。

第2部では、恩師からのビデオメッセージと渋谷伯龍さんの記念講演が行われ、津軽弁のルーツ、面白さを学びました。

